

令和元年度第2回石川中央医療圏保健医療計画推進協議会 議事概要

- 1 日 時 令和2年2月6日(木) 19:00~
- 2 場 所 石川県庁行政庁舎11階 1109会議室
- 3 出席者 委員等29名(委員名簿は別紙のとおり)
- 4 議 事 (1) 外来医療計画について
(2) 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証について
(3) 個別医療機関の病床機能の見直しについて

5 主な意見

【外来医療計画について】

特になし。

【公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証について】

- ・河北中央病院存続の要望書については、10月の河北郡市医師会理事会で要望書を出してほしいとの意見があり町長に提出した。津幡町民からは、「よく言ってくれた。無くなっては困る。町長にはしっかり伝えてほしい」という声をいただいている。
- ・開放病床では、たまたま本日、当院の患者2例をお願いしている。せん妄があるなど、普通はなかなか受け入れてくれない患者だが、しっかりと対応していただいている。
- ・郡市医師会としては、大変必要な病院であると考えており、津幡町としても町長にしっかりと進言していただきたい。
- ・JCHO金沢病院も地理的に必要であると考えており、症例検討会には河北郡市の医師の半分以上が参加している。
- ・地域で診療している者として、それぞれの病院が不要であるということは絶対にない。各病院の診療内容の特徴を生かして、これまで通り活動していただきたいが、人口減少や疾病分布の構成の変遷も踏まえると、各病院が従来どおりのことをしては効率の悪い面もある。
- ・ひとつの病院だけで、こうして行くんだということも大切だが、地域の病院群で協調して特徴を生かす形での連携を図り、地域として適切な医療資源を供給することが必要である。これからの協議ではないかと思う。

- ・医療企業団として松任石川中央病院とつるぎ病院は、元々棲み分けができていたが、今回それを鮮明化していただいた。それぞれの特性を生かして、これまで通り活躍していただきたい。
- ・国が2040年に向けて機能の見直しや再編成を行うということだが、住民の方々の意見や希望もあり、すんなりと進まないのが当たり前で、地域に合った状況で進めていけばよいのではないかと思う。
- ・県立中央病院から資料を出していただいたが、民間病院も含めて各病院が、こうした資料を基に将来にわたっての自分たちの病院の立ち位置を考え、それらを踏まえながら働き方改革にも手を付けられるということになると考えている。いろんな病院の情報を参考にしていきたいと思います。
- ・これは「地域医療介護連携構想」だと思っており、是非とも病床云々だけではなく、連携についても考えていただきたい。

【個別医療機関の病床機能の見直しについて】

- ・白山市の産科病院は民間では1病院のみであり、その病院も移転を予定しており、今後、市内に産科病院が無くなるといった状況にある。
- ・市では産後ケア事業を行っているが、宿泊型・通所型ともに助産院で受け入れていただいております、数量的に不足している。
- ・いこまレディースクリニックが12床の予定で開院していただけるとのことだが、産科医院が増えることは、市の取組を進めるうえでも非常に心強い。